

林野庁プレスリリース(1月)

- 林政審議会の委員の改選(1/5)
- 第3回林業公社の経営対策等に関する検討会の概要(1/7)
- 森林農地整備センター(旧緑資源機構)の入札監視のための委員会(1/8)
- 「知床世界自然遺産」シンボルマークの募集(1/15)
- 森林農地整備センター(旧緑資源機構)の入札監視のための委員会(1/16)
- 今後の林業就業相談会の実施(1/21)
- ロシア丸太輸出税引上措置の延期(1/23)
- 平成20年度第3回林政審議会施策部会の開催及び一般傍聴(1/27)
- 平成19年度林業機械保有状況調査結果の概要(1/29)
- 林政審議会の開催及び一般傍聴(1/30)

林野庁 一口メモ

「住宅・建築物における木材利用促進フォーラム(仮称)」の会員募集と設立大会の参加申し込み

木材への関心の高まりを踏まえ、より一層の住宅・建築物への木材利用の促進の取り組みを進めようと、国交省、林野庁をはじめ、産官学の関係者が結集して、標記のフォーラムを設立することとなりました。

木材利用や木造の家などにご関心のある方を対象に、会員を募集しておりますので、詳しくは、以下のHPアドレスをご参照ください。

また、当フォーラムの設立大会を開催します。参加は無料ですので奮ってご参加ください。

●会員募集のご案内

<http://www.howtec.or.jp/gov/forum/news/0901-01.html>

●「住宅・建築物における木材利用促進フォーラム(仮称)」設立大会

- 1 日 時 平成21年2月27日(金)13:30~16:30
- 2 場 所 東京国際フォーラム ホールC(東京都千代田区丸の内3-5-1)
- 3 参加申込み 設立準備事務局(Tel.03-3589-1790)へ、2月20日までにお申込みください。

「国産材住宅づくりワンストップ相談窓口」の設置

国産材を使った家づくりを希望される方々が、ワンストップで簡単に、工務店や様々な助成制度などの情報を手に入れることが出来る相談窓口とインターネットでの情報サイトを開設する予定です。

具体の窓口の設置箇所などの詳細については、当誌来月号においてレポートする予定です。ご期待ください。

編集後記

先日、劇団ふるさとときやらばん公演のミュージカル「ホープランド」を観て来ました。地球温暖化で海に沈んでしまった南の島モルバルの人たちが、日本の山村に移り住む物語です。移住した先は、荒れ果てた棚田や山林が広がる典型的な過疎地でしたが、島の人たちは全然気にしません。緑を育む大地と水と太陽があれば、人間は充分に生きていけるんだ、ということを力強く訴える内容でした。心に残ったのは、赤い服を着た島の娘ジャナが、村の青年俊介に言った言葉。「山に生まれ山に育つたのに、山に生えてる木も田んぼのことも何も知らない俊介はおかしいよ。俊介病気!」。帰路、街路樹や庭木に目を向け、あまりに身近な自然を知らない自分自身に気がついては、もう少し勉強しなければと思ひ直しました。

林野 RINYA 2月号 No.23

平成21年2月15日発行

発行●林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集●camp damian

東京都足立区千住東2-21-25-413

印刷●松尾印刷株式会社

東京都港区虎ノ門5-8-12

<http://www.rinya.maff.go.jp/>